

京都府中期的な医療費の推移に関する見通し（第3期） 進捗状況の調査・分析

1. 目標に関する評価

(1) 住民の健康の保持の推進に関する目標

① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
50.6%	51.9%	53.5%	50.8%	53.7%		70%
目標達成に 必要な数値	53.8%	57.1%	60.3%	63.5%	66.8%	70%
第3期の取組	・健康長寿・データヘルス推進事業（受診勧奨方法・資材の普及等）の実施					
第4期に向けた 課題	・コロナの影響等により伸び悩んでいた実施率については、コロナ前の状況に回復しつつあるが、目標値との乖離も大きく、全国平均と比較しても低い状況にある。					
第4期に向けた 改善点	・働き盛り層や健康無関心層に対して、ヘルスリテラシーを高める取り組みの推進					

出典：特定健診・特定保健指導に関するデータ（厚生労働省）

② 特定保健指導の実施率に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
18.1%	22.7%	23.5%	23.4%	26.0%		45%
目標達成に 必要な数値	22.6%	27.1%	31.6%	36.0%	40.5%	45%
第3期の取組	・特定保健指導従事者研修の実施					
第4期に向けた 課題	・コロナの影響等により伸び悩んでいた実施率については、少し改善したが、目標値との乖離が大きい。					
第4期に向けた 改善点	・上記取り組みの継続実施。					

出典：特定健診・特定保健指導に関するデータ（厚生労働省）

③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
25.8%	26.1%	26.5%	27.6%	27.0%		24%
目標達成に 必要な数値	25.5%	25.2%	24.9%	24.6%	24.3%	24%
第3期の取組	<ul style="list-style-type: none"> 健康情報の府民への提供、健康データの分析及び保健所等による市町村への伴走支援の実施 働き盛り層や健康無関心層への運動の普及や企業と連携した食環境整備 					
第4期に向けた 課題	<ul style="list-style-type: none"> 第3期計画期間中は横ばいの状況で改善が見られず。 					
第4期に向けた 改善点	<ul style="list-style-type: none"> 民間企業と連携した働き盛り層や健康無関心層への健康づくりのアプローチ。 					

出典：特定健診・特定保健指導に関するデータ（厚生労働省）

④ 喫煙率に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
17.8% (2016年)	-	-	-	-		12%
目標達成に 必要な数値	16.8%	15.9%	14.9%	13.9%	13.0%	12%
第3期の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 京都禁煙推進研究会等共催で、禁煙外来講習会を開催 ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」にあたり、禁煙啓発普及用ポスターを幅広く配布した。 ・ 女性向け禁煙 支援リーフレット 等禁煙を啓発する資料を作成し、各種団体や市町村窓口等を通じて配布した。 					
第4期に向けた 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 禁煙治療をさらに普及し、たばこをやめたい方がやめやすい環境をつくる必要がある。 					
第4期に向けた 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPO等と協力し、禁煙支援に関わる従事者を対象に定期的に研修会を開催して、人材育成に努める。 ・ がん拠点病院等や関係団体に対し、禁煙治療や禁煙指導の実施を働きかける。 					

出典：京都府民健康・栄養調査（京都府）

⑤ 受動喫煙の機会を有する者の割合に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
10.2% (行政機関)	-	-	-	-	-	0%
5.5% (医療機関)	-	-	-	-	-	0%
31.6% (職場)	-	-	-	-	-	受動喫煙のない職場の実現を目指す
10.3% (家庭)	-	-	-	-	-	3%
45.5% (飲食店)	-	-	-	-	-	15%
目標達成に必要な数値						
行政機関	8.5%	6.8%	5.1%	3.4%	1.7%	0%
医療機関	4.6%	3.7%	2.8%	1.8%	0.9%	0%
職場	-	-	-	-	-	受動喫煙のない職場の実現を目指す

家庭	9.1%	7.9%	6.7%	5.4%	4.2%	3%
飲食店	40.4%	35.3%	30.3%	25.2%	20.1%	15%
第3期の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年4月に全面施行の改正健康増進法についてポスター、ちらし、事業者向けパンフレットを配布。 ・保健所で飲食店等に対して改正法に係る指導や相談を実施し、「望まない受動喫煙」の防止対策の推進を図った。 ・京都受動喫煙防止対策事業者連絡協議会（構成団体：京都府飲食業生活衛生同業組合や京都府旅館ホテル生活衛生同業組合等）と連携し、改正法の周知のため新聞に公告を掲載した。 					
第4期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙の機会を有する者の割合が高い飲食店、職場等において受動喫煙防止対策のさらなる徹底を図る必要がある。 					
第4期に向けた改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府受動喫煙防止憲章や、改正健康増進法について関係機関と連携し周知啓発を行っていく。 					

出典：京都府民健康・栄養調査（京都府）

⑥ 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
282人	304人	300人	292人	269人		270人
目標達成に 必要な数値	280人	278人	276人	274人	272人	270人
第3期の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の改訂 ・糖尿病治療中断者抽出ツールの作成 ・ICTを活用した京都府版糖尿病保健指導モデルの構築 ・腎機能予測ツール「京都府版 eGFR プロットシート」の作成 					
第4期に向けた 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者対策の推進、多職種連携による保健指導の充実 					
第4期に向けた 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク者対策を行う市町村の増加するような働きかけや多職種ミーティング等を通じて保健指導の質の充実を図る。 					

出典：わが国の慢性透析療法の現状(日本透析医学会)

(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

① 後発医薬品の使用促進に関する数値目標

2017 年度 (計画の足下値)	第 3 期計画期間					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (目標値)
67.4% (66.8%)	73.2% (71.9%)	77.0% (74.6%)	79.2% (76.1%)	79.6% (75.8%)	80.6% ※ 12 月時点	80.0%
目標達成に 必要な数値	69.5%	71.6%	73.7%	75.8%	77.9%	80.0%
第 3 期の取組	・後発医薬品安心使用促進事業の実施（使用促進対策事業により後発医薬品に係る理解促進のための環境整備を進め、重点地域使用促進強化事業により地域の課題調査・分析からモデル事業を実施。）					
第 4 期に向けた 課題	・後発医薬品の使用促進に関する目標は達成しており、後発医薬品の普及を前提とした国の新たな目標等を踏まえて、更なる医療の効率的な提供を推進する必要がある。					
第 4 期に向けた 改善点	・国の検討を踏まえつつ、関係団体との意見交換会や他都道府県の取組等の情報を収集し進めていく。					

出典：調剤医療費（電算処理分）の動向（厚生労働省）

※ （）内の値は参考値（NDB データセット（厚生労働省））

② 服薬情報の一元的・継続的管理の推進に関する目標

目標	服薬情報の一元的・継続的管理の推進
第3期の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・患者のための薬局ビジョン推進事業及び認定薬局整備促進事業により、薬剤師会とともにかかりつけ薬剤師・薬局、健康サポート薬局及び地域連携薬局の周知・啓発、機能強化等のためのモデル事業並びに各薬局の認定等取得推進を実施。
第4期に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携薬局及び健康サポート薬局の更なる推進並びに患者等への普及が必要。 ・患者、薬局ごとに服薬情報等の管理方法等が異なるため、継続的な情報の管理や情報共有が困難な場合がある。
第4期に向けた改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携薬局や健康サポート薬局の普及を促進する。また、薬局の存在や役割を改めて広く周知啓発する。 ・かかりつけ医をはじめとする多職種と連携しながら技能を発揮する薬剤師・薬局の養成を推進する。 ・患者、家族、医療従事者等が服薬情報・薬局等を適切に把握・管理できるよう、電子お薬手帳、オンライン資格確認、マイナポータル等の情報システムについて、患者等へ周知・啓発する。

2. 保険者等、医療機関その他の関係者の連携及び協力に関する評価

第3期の取組	京都府医療保険者協議会に参画し、保険者が共同して実施する取組に対する情報共有や支援を推進した。
第4期に向けた改善点	引き続き京都府医療保険者協議会に参画し、保険者が共同して実施する取組に対する情報共有や支援を推進するとともに、都道府県計画への関りを支援していく。